

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスみかづき		
○保護者評価実施期間	令和8年1月19日		～ 令和8年2月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	41	(回答者数) 23
○従業者評価実施期間	令和8年3月1日		～ 令和8年3月14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月21日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	本事業所の療育理念や療育内容について保護者の皆さまへ十分な説明を行い、ご理解とご協力をいただけていること。	保護者のニーズを把握した中で、本事業所で担える役割や重要と考えている点などを明確にお伝えし(担える事とそうでないことはわかりやすく伝える)、支援の進め方のできる限り相違が生まれないようにしています。	実際にお顔を合わせてのご面談や送迎に際した申し送り以外にもメールや電話等の連絡ツールを活用した情報共有の機会を作り、ご就労されている保護者様やご多忙な保護者様とより信頼関係を構築できる働き掛けを行っていく。
2	児童さんたちの好きなこと・やってみたいことに目を向けた活動設定や取り組みにより、多くの児童さんたちが前向きに通所してくれていること。	お子さんたちとの会話を大切にしており、その中でタイムリーに興味や関心のあることを把握し、上手く活動へ取り入れていくことです。	ご家庭ではなかなか経験できないことや普段触れることのないような物を取り入れ、児童さんたちに様々な経験をしてもらいたいです。また、そういったことをきっかけに新たな興味や関心に繋がっていきたいと思っています。
3	通所されている児童さんたちの将来を見据え、自立して生活していくために必要な力や個々の強みを社会生活でどのように活かしていくのかを考えて療育を行っていること。	生活スキルを高めていくために炊事などの経験はもちろんですが、物の一般的な値段を知るためにスーパーへ一緒に行ったり、社会資源を活用できるようにコインランドリーに行く体験を実施するなどしています。また、飲食店やゲームセンターなどへいき自分の予算に合わせて活動を楽しむなど金銭管理や生活を豊かにするための取り組みも行いました。	社会へ出ていくことを想定し、生活していく上で活用できる便利な物やお店などに焦点を当て、一度経験しておくことで将来的に役立つことを積極的に取り組んでいきたいと思っています。(交通機関や公共施設の使い方など) また、自分の生活を豊かにするためレジャー施設などで活動する経験も増やしていきたいと考えています。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	通所されている児童さんたちの成長に伴い、通所児童に年齢のばらつきが見られているため、より年齢ごとに合わせた療育内容が求められていく環境になっています。	中学生・高校生の割合が増加してきたことで年少の児童さんたちと興味の対象が変化が出たり、身体的な能力の開きが大きくなる点において上手くバランスを取ることが出来ないこともあった。	年齢の違う児童同士の交流機会も維持しつつ、年齢や能力によりグループを分けて同じ課題や目的意識を持って取り組みの形を作っていきます。
2	保護者会など保護者同士での交流機会などを積極的に作ることは出来ませんでした。(今年度は1回のみ)	日頃の療育の質を高めていくことやその他の業務にリソースをさいってしまったことで保護者会の計画&実施の機会を作ることが難しくなっていました。	最低2回/年の保護者会を実施し、保護者同士で子育てについてのお悩みを共有したり、有益な情報交換の場とできるように努めます。
3	支援内容や具体的な活動内容について日々の申し送りやSNSやブログ等で発信を行っていますが、SNSに関しては全ての保護者が閲覧しているわけではないため、周知が不十分であったと感じています。	SNSやブログ等の更新については特に周知しておらず、更新された情報を見るためには保護者側で定期的にHPを見ていただく必要があった為、閲覧しているかどうかにはばらつきが出てしまいました。	今後は新たなシステムツールを導入予定の為、より細かな情報を全てのご家庭に周知できるのではないかと考えています。